

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 【新】浄化槽適正維持管理システム更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 廃棄物対策課 一般廃棄物係 電話番号：058-272-1111(内 2716)

E-mail：c11225@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,200 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	6,200	156	0	0	0	0	0	0	6,044
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- 浄化槽の正確な情報の常時把握、浄化槽統計情報、法定検査の受検率100%達成を図るため、平成14年度から「浄化槽適正維持管理システム」を導入している。
- 令和2年4月の浄化槽法改正により浄化槽台帳の作成が義務付けられ、法施行から3年を目途に浄化槽台帳のシステム化が求められている。
- 環境省からはGIS機能を搭載したより多機能な浄化槽台帳システムを整備するよう求められているが、「浄化槽適正維持管理システム」にはGIS機能はないため、システムを更新する必要がある。

(2) 事業内容

①浄化槽台帳システムの更新

- ・環境省版浄化槽台帳システムの導入及びカスタマイズ
- ・「浄化槽適正維持管理システム」からのデータ移行

②保守管理事業費

- ・システムの保守管理 (5年間)

(3) 県負担・補助率の考え方

既存システムからのデータ移行にかかる費用に関しては、1 / 3 が指導監督

交付金の対象となる。

- (4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,200	システムの更新
合計	6,200	

決定額の考え方

4 参考事項

- (1) 各種計画での位置づけ
特になし

(2) 国・他県の状況

他自治体でも浄化槽法に基づき、浄化槽台帳のシステム化を行っている。

(3) 後年度の財政負担

(単位：円)

年度	一時経費	経常経費	計
R 4	6,199,079		6,199,079
R 5		381,434	381,434
R 6		381,433	381,433
R 7		381,433	381,433
R 8		381,433	381,433
R 9		381,433	381,433
計	6,199,079	1,907,166	8,106,245

※債務負担行為限度額：2,000 千円（令和 5～9 年度）

(4) 事業主体及びその妥当性

システムの開発については専門知識及び技能が必須であり、外部委託することが妥当である。

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

浄化槽関係法令に基づく届出情報の管理や集計作業、効率的な立入検査を行うため、現行の浄化槽台帳システムをGIS機能を搭載した高機能なシステムに更新する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						%

○指標を設定することができない場合の理由

本事業は、システムの導入及び安定した運用・保守を委託する業務であり、指標の設定は困難である。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	浄化槽の正確な情報の常時把握、浄化槽統計情報、法定検査の受検率100%達成を図るため、平成14年度から「浄化槽適正維持管理システム」を導入し、浄化槽関係法令に基づく届出情報の適切な管理を行うことが出来た。
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
<p>(評価) 3</p>	<p>・ 令和2年4月の浄化槽法改正により浄化槽台帳の作成が義務付けられ、環境省の通知内容にあった浄化槽台帳システムの導入が求められている。</p>
<p>・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>・ GIS機能を搭載した浄化槽台帳システムの導入により、効率的な立入検査や迅速な苦情対応が可能となる。</p>
<p>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
<p>(評価) 2</p>	<p>・ システムの導入により、年次報告書の作成や各種届出情報の管理等通常業務に要する時間を大幅に短縮することができる。</p>

(今後の課題)

<p>システムの安定的な運用により、浄化槽関係法令に基づく届出情報を適切に管理していくことが求められる。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>システムを安定的に運用していくため、運用保守事業を行う。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	<p>【〇〇課】</p>
<p>組み合わせて実施する理由や期待する効果 など</p>	